

気候情報

2005年3月の日本の天候

低温（西日本、南西諸島）、多雨・寡照
（北・東日本の日本海側）

3月の天気概況

日本付近を低気圧が頻繁に通過し、天気は数日の周期で変わり、日本海側の地方を中心に曇りや雨の日が多かった。低気圧の通過後には寒気が入るなど気温の変動の大きい状況が続いた。低気圧や前線の影響で北・東日本日本海側では、曇りや雨または雪の日が多く、多雨・寡照となった。また、低気圧が日本の北で停滞することが多かったため、等圧線の間隔が平年に比べ狭まった南西諸島や西日本では大陸から寒気が南下しやすかった。これらの地方では月平均気温も低くなり、とくに、九州南部地方や南西諸島で顕著であった。3月の低温は西日本では1994年以来11年ぶり、南西諸島では1995年以来10年ぶりである。

上旬：2度にわたり、東シナ海から本州の南岸を低気圧が通過し、西日本から東日本太平洋側で雪となった。通過後には南西諸島では強い寒気が入り、気温は平年を大きく下回った。旬の終わりには東・西日本を中心に移動性高気圧に覆われ、気温が上がった。旬平均気温は、南西諸島でかなり低く、その他の地方では平年並。旬降水量は、北日本日本海側では多く、北日本太平洋側、東・西日本日本海側、西日本太平洋側では少なく、東日本太平洋側、南西諸島では平年並。旬日照時間は、北日本日本海側では少なく、北・東・西日本太平洋側、東日本日本海側では多く、西日本日本海側、南西諸島では平年並。

中旬：中旬になると低気圧が北日本を頻繁に通過し、オホーツク海付近で発達した。低気圧や寒冷前線の通過にともない、北日本や東日本日本海側では、まとまった量の雨や雪となった。低気圧の発達した位置が北海道の北であったことから、低気圧後面の寒気は西日本や南西諸島に入り、これらの地方では気温が平年を下回ったほか、西日本日本海側でも降雪があった。旬平均気温は、北・東日本では平年並、西日本、南西諸島では低い。旬降水量は、北日本、東日本日本海側では多く、東日本太平洋側、西日本日本海側では平年並、西日本太平洋側、南西諸島では少ない。旬日照時間は、北・東・西日本日本海側、北日本太平洋側では少なく、東・西日本太平洋側では平年並、南西諸島では多い。

下旬：下旬も日本列島付近を低気圧が頻繁に通過したため、日本海側の地方や南西諸島を中心に曇りや雨または雪の日が多かった。東・西日本の太平洋側では低気圧の通過後移動性高気圧に覆われ、晴天となった。旬平均気温は、南西諸島で低く、その他の地方では平年並。旬降水量は、北・東・西日本日本海側、南西諸島で多く、その他の地方では平年並。旬日照時間は、北日本、東日本日本海側、南西諸島で少なく、東・西日本太平洋側では多い。

3月の気候統計

平均気温：北日本と東日本では平年並だったが、西

日本では低く、南西諸島ではかなり低かった。九州から南西諸島にかけては平年を1°C以上下回り、佐賀（佐賀県）、西表島（沖縄県）、与那国島（沖縄県）では3月の月平均気温の最低値を更新し、3地点でタイ記録となった。

降水量：北日本・東日本の日本海側はかなり多く、一部で平年の170%以上となった。一方、西日本の太平洋側では少なく、そのほかの地域は平年並だった。

日照時間：北日本の日本海側はかなり少なく、東日本の日本海側では少なかった。そのほかは平年並だった。北日本の日本海側では平年の80%未満となつたところが多く、羽幌（北海道）、青森（青森県）では、3月の月間日照時間の最小値を更新した。

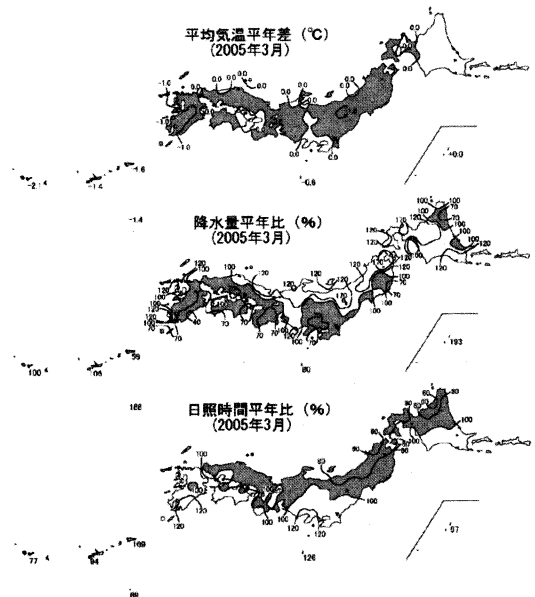
降雪・積雪：降雪の深さ月合計、月最深積雪ともに、北日本から東日本にかけてと西日本の日本海側で多かった。釧原（長崎県）、屋久島（鹿児島県）で3月の降雪の深さ月合計の最大値を更新し、米子（鳥取県）でタイ記録となった。また、室蘭（北海道）、松江（島根県）、釧原（長崎県）、屋久島（鹿児島県）では3月の月最深積雪の最大値を更新した。

（気象庁観測部統計室）

3月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温の低い方から（°C）
佐賀 8.8 西表島 18.1 与那国島 18.3
- ・月間日照時間の少ない方から（時間）
羽幌 83.7 青森 91.9
- ・降雪の深さ月合計の多い方から（cm）
釧原 6 屋久島 1
- ・月最深積雪の大きい方から（cm）
室蘭 54 松江 32 釧原 5 屋久島 1

2005年3月の平年差（比）図



注）陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す